

避難者通信第 175 号 事実をありのままに認識する

皆々様

おはようございます。

少し気温が上昇いたしました。

お変わりありませんか？皆様のご健勝をお祈りします。

BCC で失礼いたします。重複ご容赦ください。

## 1 事実をありのままに認識することは

### 民主主義の土台です

「事実をありのままに認識することは民主主義の土台です」と私（矢ヶ崎）は訴え続けています。

世界の軍事・安全保障に関する日本の主要メディアの報道は、冷戦期から現在に至るまで、

基本的に米国を中心とする「西側陣営」の視点を共有する立場に基づいていると評されています。それは客観的事実が中心となる報道ではありません。

いわゆる「大本営発表」なのです。

国内のことについてもその影響は大きいと言わざるを得ません。

総選挙などにおいては、巨額をかけてユーチューブの繰り返し再生を繰り返していたことなどが報道されています。

「客観的事実」を私たちが把握しにくい状況となっています。

### どこにも付度しない IWJ をご存じですか？

客観的事実に基づく報道を行っている私たちの貴重な情報源です。

どのような報道をしているかをご紹介しますと思います。

<https://mail.google.com/mail/u/0/#search/iwj/WhctKLbvVXKPrdZMCGZkLMhDPbnLqhvjrcXrtqqxvSBclPvvvpfzHSXDwGtzmjFjfHPtcfG>

著作権などが絡みますので、わたくしからのご紹介にとどめてください（拡散しないでください）。

IWJ 会員になったり、財政的な危機状況へのご支援を賜れば幸甚です

以下は IWJ 代表 岩上安身さんの言葉（の一部）です。

IWJ は、「忖度」せず、「孤立」を恐れずに、真実を伝え続けてきました。

（創業以来最大の財政危機！）IWJ は、会社を清算するか否かの岐路です！  
支出を半分に削減し、収支を合わせる取り組みはすでに開始！ 先月 1 月の  
ご寄付・カンパは月間目標額の 52% で、170 万円弱が不足！ 今期第 16 期は、  
昨年 8 月から今年 1 月末までの 6 ヶ月間で約 1 千万円の赤字！  
会社の借り入れ残高は、岩上安身個人から約 1100 万円、金融機関から約 1800 万  
円！ 合計 2900 万円！ もはや岩上安身個人の私財だけでは、支えきれません！  
IWJ 存続の可否は皆様からの会費とご寄付・カンパによるご支援にかかっていま  
す！  
どうぞ皆様、力強いお力添えをよろしくお願いいたします！

※ご寄付・カンパのお願い

<https://iwj.co.jp/join/pleasehelpus.html>

※会員の再開、新規会員登録はこちらからお  
願いします。

ぜひとも、皆様、会員となって、お支えくだ  
さい!!

（新規会員登録の方）

<https://iwj.co.jp/ec/entry/kiyaku.php>

（会員登録済みの方）

<https://iwj.co.jp/ec/mypage/login.php>

YouTube の登録もよろしくお願いいたします！

※Movie IWJ

<https://www.youtube.com/@IWJMovie>

## 2 放射線被曝から人類を守る

日本放射線リスク評価委員会 JCRRA を設立します

## 設立総会 2月22日（日）13：30～

住民の健康防護を放棄した ICRP の被曝評価体系に代わって、「科学と人権に基づく被曝評価体系の確立」を目指す日本放射線リスク評価委員会 JCRRA（仮称）をいよいよ設立するところとなりました。放射線被曝防護を核産業・核推進国家から語るのではなく、基本的人権を守ります。世界の命を被曝から守ります。

### 日本放射線リスク評価委員会（仮称）設立総会&祝賀会

開催日時：2026 年 2 月 22 日（日）13:30－19:30

開催場所：神戸大学深江キャンパス・学术交流棟（梅木 Y ホール）

問い合わせ：

JCRRA 準備会事務局長 藤岡毅 (Email: [fujioka\\_68t94@jcrra.org](mailto:fujioka_68t94@jcrra.org))

(JCRRA 準備会代表 矢ヶ崎克馬 (Email: [yagasaki\\_92k6275@jcrra.org](mailto:yagasaki_92k6275@jcrra.org)))

#### 第 1 部 記念講演会 (13:30-15:00)

(1) 山内知也（神戸大学大学院海事科学研究科教授）

「ECRR（欧州放射線リスク委員会）から何を引き継ぐべきか」

(2) 高橋博子（奈良大学文学部教授）

「核のフォールアウト過小評価の歴史的背景：広島・長崎・核実験・原発事故」

(3) 森松明希子（原発賠償関西訴訟 原告団代表）

「だれの子どもも被ばくさせない ～「被ばくからの自由」と「避難の権利」～」

(4) 矢ヶ崎克馬（琉球大学名誉教授）

「なぜ今“科学的で人権を守る”放射線被曝評価体系が必要か？」

（休憩）

#### 第 2 部 総会 (15:30-17:30) （準備委員会会員以外はオブザーバー参加）

#### 第 3 部 設立祝賀会(18:00-19:30)

★JCRRA 設立参加登録はこちらから（受付期限：2026 年 2 月 16 日）

<https://x.gd/unuBg> ←

会場参加、オンライン参加どちらも申し込めます（記念講演会だけでも参加できます）

具体的情報ははこちらから

<https://jcrra.org/>（広報ページ）、

または JCRRA とご検索ください。

つなごう命の会 矢ヶ崎克馬 20260216